

「エコタウンへつづつ」を目指す意見交換会開催！

平成27年12月14日に、津別町林業研修会館集会所で町民など53名の参加を得て「『エコタウンつづつ』を目指す意見交換会」を開催しました。その内容について、今月号から2回にわたり報告します。今月号では、開催趣旨及び津別町モデル地域創生プランの検討概要と、外部有識者2名からの情報提供のうち一つを報告します。

意見交換会の内容

意見交換会は次の内容で開催しました。

- ① 説明
開催趣旨及び津別町モデル地域創生プランの検討概要について（津別町 役場産業振興課 参事 小南雅彦）
- ② 情報提供1
地域資源としてのバイオマスの利活用で検討すべきこと
（株式会社NERC（自然エネルギー研究センター）センター長 工学博士 大友詔雄氏）
- ③ 情報提供2
木質バイオマス・地域現実サイズでの熱利用・熱電併給
（サステナジー株式会社 代表取締役社長 山口勝洋氏）
- ④ 意見交換
進行（一般社団法人産業環境管理協会 壁谷武久氏）
コメンテーター（大友詔雄氏、山口勝洋氏、竹俣信行副町長）



意見交換会の開催状況

意見交換会の趣旨

津別町モデル地域創生プラン（環境省事業・平成27年度「低炭素・循環・自然共生」地域創生実現プラン策定事業）の策定にあたり、木質バイオマスを活用した地域活性化策やビジネスモデルに関する知見を有する外部専門家を招き、検討中のプランを参加者

に示すとともに、外部専門家から木質バイオマスをはじめとする様々な地域資源を活用した事業の事業化にあたっての合意プロセスや資金確保、さらには官民の連携や担い手育成など持続可能な地域づくりのための実践的な活動事例についてもご紹介いただいたとともに、プランについてのコメントをいただき、町民など参加者と意見交換を行いました。



給。3点目として、林地未利用材等木質バイオマス資源の利用促進です。すべて関連した内容になりませんが、この3点を目標としたプランを策定したいと考えています。これまでの検討委員会による検討、アンケート調査の結果、先進地現地調査等から、現在検討しているプランの内容についてです。まず、大きな1点目として、津別町のエネルギー使用状況や

津別町モデル地域創生プランの検討概要

津別町モデル地域創生プランで目指したいものは、1点目として、化石燃料に頼らない、地域資源を活用した低炭素社会の形成。2点目として、既に丸玉産業(株)で実現されている事例を参考とした、木質バイオマス等再生可能エネルギーを活用したエネルギーの供

温室効果ガスの排出実態等に基づくCO2削減量や地域資源利用量等の基本目標を設定したいと考えております。次に、設定した基本目標の達成に向けた地域資源活用による再生可能エネルギー導入計画の設定として、まず、津別町再生可能エネルギーマネジメントセンター（仮称）の設置について検討しています。津別町再生可能エネルギーマネジメントセンター（仮称）のイメージですが、町内から発生する木

質バイオマス資源を一極的に収集・管理し、各施設が必要とする燃料や材料に加工し、販売するといった機能を有する公民連携した機関を想定しています。

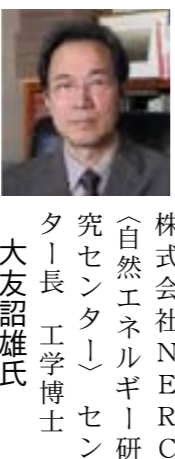
また、役場庁舎等複合施設整備時の再生可能エネルギーによるエネルギー自給自足システムについては、現在進められている「まちなか再生協議会」と連携を図りながら、複合施設やその

周辺施設へのエネルギー供給に関する可能性について検討を進めています。その他にも、木質バイオマスによる公営住宅への熱供給や農業ハウスへの再生可能エネルギーの導入による新たな農産物の栽培など、地域資源を活用したエネルギー事業の展開により、津別町ならではの地域振興を図るプラン策定を検討しています。

最初に準備すべきことは、何をどう進めるのか。
・人（地域の核となって事業を進める人）
・金（原資を作り出す方法…エネルギー代を地域資源で置き換える）
・もの（地域資源・需要施設・エネルギー供給施設など）

情報提供1

地域資源としてのバイオマスの利活用で検討すべきこと！



株式会社NERC
〈自然エネルギー研究センター〉
センター長 工学博士
大友詔雄氏

《株式会社NERCとは》
北海道大学ベンチャー企業として16年前に設立。地域に仕事を作り出すことを目的に、道内外の60自治体の自然エネルギーに関する基本計画づくりや自然エネルギー技術の開発を行う。特に木質バイオマスの実績を積み「バイオマス燃料工場」を道内5地域に設立。

《津別町へひとこと》
津別町の条件は、道内の自治体でも極めて可能性を有する優れた中味を持つ自治体であり、公民力をあわせて実現に向けて頑張っていたいただきたい。
※次号（3月号）にて情報提供2と意見交換の内容をご紹介します。

《地域内経済（自立）循環》
地域内経済循環の確立のためには、需要と供給のマッチングをしっかりと果たすこと。そして、実証技術を使うことが重要である。

問い合わせ先
産業振興課
再生可能エネルギー推進グループ

津別町モデル地域創生プランの検討内容

- 津別町のエネルギー使用状況や温室効果ガスの排出実態等に基づくCO2削減量や地域資源利用量等の基本目標の設定
- 基本目標の達成に向けた地域資源活用による再生可能エネルギー導入計画の設定
 - ① 津別町再生可能エネルギーマネジメントセンター（仮称）の設置
 - 町内から発生する木質バイオマス資源を一極的に収集・管理し、各施設が必要とする燃料（材料）に加工し販売。
 - 地域の再エネ導入に係る指導・管理・調整機能。
 - ② 役場庁舎等複合施設整備時の再エネによるエネルギー自給自足システム
 - 現在進められている「まちなか再生協議会」との連携。
 - 電気と熱の併給に関する可能性と手法の検討。
 - 複合施設の周囲施設に熱供給を行う可能性の検討。
 - ③ 木質バイオマスによる公営住宅への熱供給（集中暖房）
 - ④ 農業用ハウスへの再エネ導入による新たな農産物の栽培
 - ⑤ 防災施設への再エネの導入に関する検討
 - ⑥ 公共施設や事業所等の既存ボイラー更新時におけるバイオマスボイラーへの転換に関する検討

